令和3年度 大分教育事務所 所長通信

2021「山ちゃん通信」No,94

2021, 9, 10

文青:山香 昭

大分教育事務所訪問 54

大分市立八幡小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

本校は、右の図のように9つの項目に おいて全教職員で協議をし、それぞれの 成果と課題を明らかにしています。そ て、各項目の課題を解決するために、 を が何を教えるかではなく、子どもに のような資質・能力をつけるべきかを 記し、資質・能力の3本柱をもとに、目 指す子ども像を設定しています。

そのようなことを通して、学校の教育

目標を「<u>自ら学ぶ力</u>と<u>豊かな心</u>をもち、<u>心身とも</u> にたくましい子どもの育成」とし、

- ○自ら学ぶ力:課題設定力・自己評価力
- ○豊かな心:多様性・人間関係形成力

○心身ともにたくましい: 意欲的に取り組む力と、目標に対して育成すべき資質・能力を明確にしています。

また、すべての教育活動において育成を目指す 資質・能力を「自ら考える力(課題設定力・自己 評価力)」と定め、教職員のみならず、子ども達 も「何のために学ぶのか」を意識をして、日々の 授業や行事に取り組んでいます。

このように、子どもにつけたい力(資質・能力)を明確にした上位目標を設定することにより、それぞれの取組(手段)は、担当者や担任に任せることができ、当事者意識がよりすすむと思います。同時に、保護者・地域の方との共通理解が図られ、協働的な実践も推進されることでしょう。

令和3年度 育成を目指す資質・能力 自ら考える力 (課題設定力・自己評価力) 知 めざす子ども像 D授業研が日々の授業に生きている O既響事項を活用できる 〇なわとび週間に熱心な取れ 基礎基本を大切にする子ども 〇基礎的な力は身に付いてきている 〇テスト宿題の出し合いで共通理解 〇マラソン、なわとびなどの全校での取り ●早寝早起き朝ご飯の定着 情報を読み取る力 より良い生活習慣の定着 れあうことのできる子 ○友だちの良い所を認める 〇多様な遊びが見られ運動に親しる 規範意識・人権意識に高まりがない でいる ●自分の考えを根拠を持って、考え 根拠をもって考えを表出 し、自分自身を深めること のできる子ども 思考力 判断力 めあてを決めそれに向かい考えエ 表現力 ●自分の考えを言えるが一方的 3 夫する力の育成 ○意欲的に取り組める ○委員会・係活動に一生懸命に働ける 成長を目指す子ども)委員会・係活動に前向きに取り組め ・自分や友だちが気持ちよく過ご 意欲的に取り組む力 学びに向かう力 ●忘れ物多い 宿題をしてこない 意欲的に取り組む力 意欲をもって進んで取り組む子ども ●知識を応用できない 進んで運動に親しむ態度育用 ●テストの見直しが足りない O無言清掃しっかり 容易な課題には意欲的にだが困難 な課題は応用できにくい 学習規格 を整える



待つ姿勢

姿勢をみると、 やる気、自信、興味などが 伝わります。



集中力

自分で考え予想したことだから 実験をして検証したい。 先生の指示をしっかり聞いて、 はやく確かめたい。



自信の挙手

天井を刺すようにまっすぐに 腕を挙げ、指先まで集中し、 先生の目をしっかり見る。や る気と自信が教室中に伝わる。



川是海

ネットで調べる。資料と比較する。 一人で考える。友達と協力する。 それぞれ、自分にあった方法が選 べるので、やる気になる。

授業から学ぶ

どの指導案も、ねらいが明確であり資質・能力を意識した授業が展開されていました。特に2年生算数では「先生は次に何を求めるのか?」と、子ども達に問題を考えさせる等、正に課題設定力を意識した発問でした。また、分散登校で学級を分けても、教員は学年部を超えて授業を行う等、協働的な実践が行われていました。今後は、授業の終末の「振り返り」で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿とすることで、「ねらい」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで授業力がより向上すると思いました。